

※以下の内容を記入し、**実験走行日から5日以内**に、メールにて事務局(challenge@rt-tsukubajp)までお送り下さい。
この情報は、つくばチャレンジ 2014 ホームページで共有します。

つくばチャレンジ 走行実験の内容および結果レポート

つくばチャレンジ 2014 第 3 回実験走行会 2014/ 9/ 21 (日)

ロボット No.: 1414

ロボット名: Active2014

チーム名: 法政大学自律ロボット実験室(ARL)

記載責任者: 高橋 幹人

1 実験の目的(特に準備したことがあれば、それもお書き下さい。)

車両のデータ取り

実際に自律走行させる

2 実験の具体的内容と成果

2.1 実験の具体的内容

実際にコース内を手押しで走らせながら、データを取得する

実際にスタートから公園内を自律走行させる。

2.2 実験成果

コース全体のデータは取得できた。

自律走行は失敗した。

3 自律走行実験を行ったチームは以下にもお答え下さい。

3.1 自律走行の内容

確認走行区間を走れるようにする

3.2 自律走行の結果(どこまで走れたか等)

スタートして、すぐに芝生の場所に突っ込んでしまった。

3.3 残された課題

人やロボットといった動的障害物への対処

3.4 失敗した理由

芝生の場所が走行可能な場所になっていたためそこを通過してしまった。

3.5 確認走行を行った場合は、その記録

3.6 記録走行を行った場合は、その記録

4.運営側、実行委員へのコメントや質問等があればお書き下さい。